



ボッシュは電動トラックでカーシェアリング事業に参入 ホームセンターの toom と提携

2018 年 10 月

PI10743 en BBM Fi/af

- ▶ シェアリングは注目のトレンド:ボッシュのモビリティサービスは成長軌道を継続
- ▶ toom の買い物客向けに新サービスを提供:2018 年 12 月に開始
- ▶ 直前の予約が可能:アプリを使ってトラックを予約・乗車し、かさばる荷物を自宅に運搬、すべてがストレスフリー
- ▶ 100%電動走行: 電動トラックはゼロローカルエミッション(地域内における排出ガスゼロ)

シュトゥットガルト(ドイツ) – アプリを使って車を素早くレンタルするサービスは、ドイツ国内だけですでに 200 万人近くが利用しています。そして、カーシェアリングの利用者数は伸びています。この成長市場で、ボッシュは電動トラックのシェアリングサービスを新たに開始します。ドイツの小売グループ REWE の子会社である toom と協力し、ボッシュはホームセンターでシェアリングサービスのテストを実施します。ホームセンターは、重くかさばる荷物を運ぶのに十分なスペースを持つトラックが求められる場所です。「ボッシュは都市交通向けのデジタルサービスの分野において成長しています。電動トラックのシェアリングサービスは、大きく伸びる可能性を秘めています」と、ボッシュのコネクテッドモビリティソリューション事業部長の Rainer Kallenbach は述べています。330 を超える店舗を展開する toom は、ドイツのホームセンター業界におけるマーケットリーダーの 1 社です。2018 年 12 月から、テストのために選ばれた店舗の買い物客は、数回クリックするだけで電動トラックをその場で直接予約し、板石やベランダ用の観葉植物、ペンキ入れなどを短時間で簡単に自宅に持ち帰ることができます。「持続可能性に取り組む企業として、私たちは常に環境保護により良い形で貢献したいと考えています。今回、環境に優しい方法で、購入した品物を自宅に持ち帰るためのサービスをお客様に提供できることを非常に嬉しく思っています」と、toom のマネジングディレクター、Wolfgang Vogt は述べています。ボッシュの電動スクーターレンタルサービス「Coup」ですでに証明されているように、ボッシュはシェアリングサービス事業に精通しています。Coup は 2016 年のサービス開始以来着実に拡大を続け、現在はベルリン、パリ、マドリッドで 3,500 台のスクーターを運用しています。

電動車両のレンタル

ドイツでは、カーシェアリング用車両の 10 台に 1 台が電気モーターを搭載しています。ポッシュは、Coup と今回のトラックシェアリングに、電気自動車のみを使用することを選択しました。「完全電動走行は、都市交通にとって理想的です。これは、市街地での配送交通の場合でも、大都市圏での個人のモビリティの場合でも同じです」と Kallenbach は指摘します。トラックのシェアリングサービスは、まずドイツ国内のベルリン、フランクフルト、ライプツィヒ、トロイスドルフ、フライブルクのホームセンターで提供されます。これらのホームセンターには、StreetScooter が提供している小型電動トラック用の充電スポットがすでに設置されています。ポッシュは、StreetScooter の車両にパワートレインコンポーネントを供給しています。ポッシュは、電動トラックのシェアリングサービスをホームセンター以外でも展開できると考えています。この新しいシェアリングサービスが成功すれば、toom の他店舗、家具量販店、スーパーマーケット、家電量販店などにサービスを拡大していく予定です。

買い物のストレスから解放

カーシェアリングはその急速な成長が示すように、ニッチ市場の域を脱しており、2025 年には全世界で利用者数が 3,600 万人に達すると予測されています(出典: Frost & Sullivan)。大都市を中心に、ますます多くの利用者が、アプリをベースとするサービスを活用して昼夜を問わずいつでも車両を予約し、使用しています。レンタルのスクーターや二輪車で街を移動する際に買い物客が利用するようなリュックサックには、大きくてかさばる品物は入りません。ホームセンターで購入した品物を運ぶ手段が必要な人は誰でも新しいサービスを利用して、買い物を数時間前あるいは直前に、収容力のある電動トラックを予約することができます。トラックは、買い物客が受け取ったステーションに返却します。このサービスの大きなメリットは、利用者は使用料金とバッテリーの再充電料金が含まれた 1 時間単位の定額料金を支払うという点にあり、従来のレンタカーより割安になることが多いです。さらに、レンタルから返却までのプロセス全体が完全にデジタル化されており、面倒な書類手続きは一切必要ありません。

報道用画像: #546138

報道関係対応窓口:

Annett Fischer,

電話: +49 711 811-6286,

Twitter: @Annett__Fischer

世界のボッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2017年の売上高は474億ユーロで、総売上高の61%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の3つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle（車車間）およびVehicle-to-Infrastructure（路車間）通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017年の従業員数は約40万2000人（2017年12月31日現在）、決算報告での売上高は781億ユーロ（約9.9兆円*）を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界125の拠点を約6万4,500人の従業員が研究開発に携わっています。

*2017年の為替平均レート:1ユーロ=126.71118円

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英語）

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英語）

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター（ドイツ語）

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト（日本語）

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター（日本語）

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック（日本語）

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube（日本語）